使用説明書

PENTAX® 645_N



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。645_N は、中判カメラでありながらオートフォーカス機能を備えている他、3点AFや0.3EV ステップの露出補正、メモリーロック、6分割測光、オートブラケッティング、多重露出、セルフタイマーなど多彩な機能を備えたカメラです。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただくこともできます。

記号について

操作の方法	←
自動的に動きます	4==
注目してください	0
点滅します	314

「林檎の秘密」

すぐに役立つ写真の基礎知識

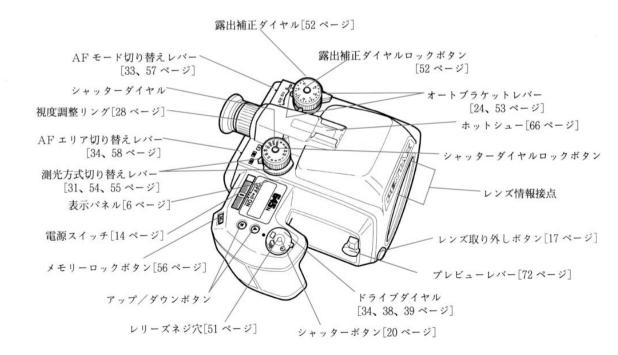


露出の仕組みや光の測り方、 ビントの合わせ方など写真 の基礎を豊富なイラスト説し 作例でわかりお買い求めは、 ベンタックスサービス窓口・ ベンタックスファミリーま たは、最寄りのカメラ店で。



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

各部の名称(1)



カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に 注意をしてお使いください。

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性がある ことを示すマークです。

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けた / 注意 り、物的損害の可能性があることを示すマークです。

⚠ 警告

- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお 子様がストラップを首に掛けないようにご注意く ださい。
- 望遠レンズを付けた状態で、長時間太陽を見ない でください。目を痛めることがあります。特に、 レンズ単体では、失明の原因になりますのでご注 意ください。

↑ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでく ださい。また、分解や充電をしないでください。 破裂・発火の恐れがあります。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたと きは、速やかに電池を取り出してください。この 場合、やけどに十分ご注意ください。

◯は、禁止事項を表わすマークです。

は、注意を促すためのマークです。

取り扱い上の注意

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンな どの有機溶剤は使用しないでください。
- ・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温 になりますのでご注意ください。
- ・防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カ ビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に 保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水 などが直接かかるところでは使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでくださ い。オートバイ・車・船などの振動は、クッション などを入れて保護してください。
- ・約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありま すが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることも ありますが、これは液晶の性質によるもので、故障 ではありません。
- レンズキャップを外した状態でカメラを三脚などに 取り付けたまま放置しないでください。太陽光によ りカメラ内部を痛めることがあります。

- レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き 飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってくださ 110
- ・高性能を保つため、1~2年毎に定期点検をしてくだ さい。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の 前には点検や試し撮りをしてください。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が 生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、 温度差を少なくしてから取り出してください。
- カメラの使用温度範囲は-10℃~50℃です。
- カメラの中やフィルムバックにゴミや泥・砂・ホコ リ・水・有害ガス・塩分などが付かないようにご注 意ください。故障の原因になります。雨や水滴など が付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

〈表示パネル〉

D 18888

:フィルム枚数[22 ページ] 88 BABA : フィルム感度値[24 ページ] ISO : フィルム感度 [24 ページ]

: 電池消耗[15 ページ]

: 撮影データ写し込み[63ページ] D

〈ファインダー内表示〉



[]:オートフォーカスフレーム

(3点AFフレーム)[34 ページ]

1000 : シャッター速度

 $[42, 45, 47, 49 \sim - \varnothing]$

F88 : 絞り[42、45、47、49] : ストロボ情報[66 ページ] : 合焦[ピント情報][36 ページ]

: 露出補正[52 ページ]

: メモリーロック [56 ページ] : バーグラフ[49、52、53ページ]

: スポット範囲円[55、58ページ]

こんな写真を撮るには?



ピント関係

58、59	ントを合わせたい	画面の中央にない物にピ
44	て写真を撮りたい	ピントの合う範囲を変えて
58	ントを合わせたい	特定の狭い部分にだけピニ
たい72	の合う範囲を確認	ファインダー内でピントの

4 ストロボ関係

暗い所で写真を撮りたい	66
逆光の人物の顔を明るく写したい	
夜景をバックに人物を撮影したい	71
結婚式など広い室内で写真を撮りた	とい66

露出[明るさ]関係

カメラ任せでなく明るさを自由に変えて写真を撮りたい 48、52
カメラロゼには、明るさで日田に変んに与具で減りたい。40、32
逆光の人物の顔を明るく写したい70
特定の狭い部分の明るさだけを測りたい55
露出をカメラに一時的に記憶させたい56



人物撮影関係

自分自身も写真に写りたい	39
逆光の人物の顔を明るく写したい	70
夜景をバックに人物を撮影したい	71

11

風景撮影関係

夜景を撮り	たい		50
夜景をバッ	クにと	物を撮影したい	71



•	
動きの速いスポーツ写真を撮りたい	57
連続的にシャッターを切りたい	38
同じコマに重ねて写真を撮りたい	40

取り扱い上の注意1
表示パネル/ファインダー内の表示ガイド2
こんな写真を撮るには?3
レンズ・アクセサリーとの組み合わせ6
使い方は簡単です8
説明書の構成について10
I カメラの準備と基本操作
ストラップを取り付けます11
電池を入れます12
電源を入れます14
・電池が消耗した場合15
レンズを取り付けます16
120・220 フィルムバック 645 の着脱方法18
シャッターボタンの操作20
フィルムを入れます20
フィルム感度の設定方法24
フィルムの規定枚数が終了したら25
フィルムの途中巻き取り26
大型アイカップの取り付け方27
ファインダーの視度を調整します28

Π	本	的	な	使(ハ方	[撮影	1
---	---	---	---	----	----	-----	---

プログラム自動露出に合わせます30
測光方式を分割測光にします31
オートフォーカスにします32
AF モードをシングルにします33
3点AFにします34
1コマ撮影にします34
カメラの構え方35
撮影します36

Ⅲ応用的な使い方	
ドライブモードを切り替えます	38
• 連続撮影	38
セルフタイマー	39
多重露出について	40
いろいろな露出モードを選びます	42
・プログラム自動露出の使い方	42
・絞り優先自動露出の使い方	44
・シャッター優先自動露出の使い方	46
•マニュアル露出の使い方	48
・バルブの使い方	50
露出補正について	52
オートブラケット撮影	53
分割測光以外の測光モードを使ってみ	ましょう54
• 中央重点測光	54
・スポット測光	55
メモリーロック撮影について	56
AF モードをサーボにします	57
フポート A E について ·······	50

フォーカスロック撮影について
手動によるピント合わせ60
撮影データをフィルムに写し込みます65
外付けストロボの使い方66
日中シンクロについて70
低速シンクロについて71
プレビュー(絞り込み)について72
専用アクセサリー[別売]について73
• 交換フォーカシングスクリーン74
絞りとシャッター速度の効果76
サービス窓口での改造について78
Ⅳその他について
こんなときは?80
主な仕様・・・・・・・82
お問い合わせは次の各サービス窓口へ84
アフターサービスについて87

レンズ・アクセサリーとの組み合わせ

レンズ・アクセサリーとの組み合わせ時の各機能

機能	レンズ単体での使用			レンズ + ヘリコイド 接写リング 注1	
	A645レンズ	FA645レンズ	A、FA645 レンズ	A、FA645 レンズ	67レンズ
プログラム自動露出	0	0	0	×	. ×
絞り優先自動露出	0	0	0	〇 注2	0
シャッター優先自動露出	0	0	0	×	×
マニュアル露出	0	0	0	〇 注2	0
プログラムTTLオートストロボ撮影	0	0	0	×	×
TTLオートストロボ撮影	0	0	0	0	0
AF500FTZ、AF330FTZ使用時の 自動照射角変化	×	0	×	×	×
絞りA位置でのファインダー内の絞 り値表示	0	0	△注3	×	×
絞りA位置以外でのファインダー内 の絞り値目安表示	0	. 0	△注3	×	×
オートフォーカス	×	0	×	×	×
マニュアルフォーカス時のファイン ダー内合焦表示 注 4	○注5	○注6	0	0	0
分割測光、中央重点測光、スポット 測光切り替え	0	0	0	△注7	△注7
フィルムへの焦点距離データの写し 込み	×	○注8	×	×	×

注1: ヘリコイド接写リング同様、情報接点のないアクセサリーはこの項目にあてはまります。

注2:絞り込み測光になります。

注3:オート接写リングA使用時は、全てのレンズでレンズの絞り値そのままが表示されます。

リアコンバーターA645 2X使用時は、全てのレンズでレンズの絞り値がそのまま表示されます。 リアコンバーターA645 1.4Xは、専用設計のため、A*645 300mmF4・FA*645 300mmF4 以外の

リテコンパーターA645 1.4Aは、専用設計のため、A 645 300mmr4 FA 645 300mmr4 以外ペレンズとの組み合わせでは表示内容に違いを生じます。

[レンズの絞り値をそのまま表示]

• FA645 300mmF5.6 • FA645 400mmF5.6 • A*645 600mmF5.6

[組み合わせるレンズとの合成絞り値を表示]

- A645 200mmF4 FA645 200mmF4 A*645 300mmF4 FA*645 300mmF4
- A645 マクロ 120mmF4 FA645 マクロ 120mmF4

[組み合わせるレンズの2絞り絞った値を表示]

(例) レンズの絞り値がF4の場合、F8を表示

• FA645 150mmF2.8

注4:レンズ単体、もしくはアクセサリーと組み合わせた場合の合成換算絞り値がF5.6以上明るい場合のみ。

注5: A645マクロ120mmF4は、等倍~1/2倍においての作動は保証できません。

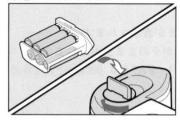
AFエリアの設定が3点AFになっている場合でも、合焦表示はスポット AF でおこなわれます。

注6: AFエリアの設定が3点AFになっている場合は、合焦表示も3点AFでおこなわれます。

注7:分割測光を選択しても中央重点測光になります。

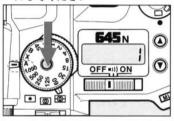
注8:FA645 45~85mmF4.5、FA645 80~160mmF4.5は近似値が写し込まれます。

1)電池を入れてください



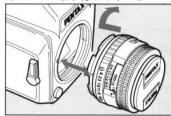
電池ホルダーに単3電池6本を入れカメラに取り付けます。[12ページ]

4) シャッターダイヤルを A 位置 にしてください



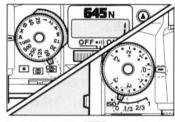
図のボタンを押しながら回します。これでプログラム自動露出になります。[30ページ]

2) レンズを取り付けてください



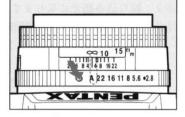
レンズとカメラのマウント指標[赤点]を合わせてはめ込み、右に回してロックします。[16ページ]

5)各設定を下記のようにします



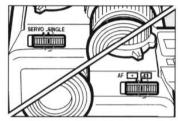
測光方式を分割 **こ** に、露出補正を0に、オートブラケットを0にします。[31、52、53ページ]

3)絞りを A 位置にしてください



レンズの絞りオートロックボタン を押しながら絞りを A 位置に合 わせます。[30 ページ]

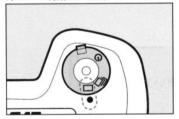
6)各設定を下記のようにします



AF モードを SINGLE に、AF エリアを 3 点AF () にします。 [33、34 ページ]

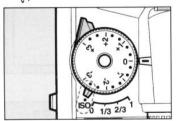
9

7) 1コマ撮影にします



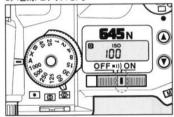
ドライブダイヤルを □ にします。 [34 ページ]

10)フィルム感度を合わせてください



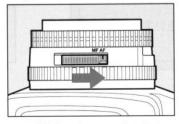
オートブラケットレバーを [ISO] 位置にし、アップ・ダウンボタンでフィルム感度を合わせます。[24ページ]

8)電源を入れます



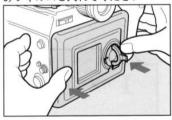
電源スイッチを ON 位置にします。 [14 ページ]

11)オートフォーカスにしてください



レンズをオートフォーカスにセッ トします。[32 ページ]

9)フィルムを入れてください



フィルムバックにフィルムを入れ、 カメラにセットします。[22ページ]

12)ピントを合わせて撮影してください



写したいものに 3 点 AFフレーム [] を合わせて、シャッターボ タンを静かに押して撮影します。 [36 ページ]